

## 権限移譲 県から大船渡市への道路事業の移譲

県では、住民に最も身近な基礎自治体である市町村において、住民生活に直結した行政サービスを担えるよう、県から市町村への権限移譲を進めています。

県土整備部では、平成 14 年度から県が単独で実施する道路や河川事業について、県内 4 市町村にモデル的に移譲してきました。移譲にあたっては、「権限」、「財源」の他、専門的知識・技術を持つ県職員「人」も移譲しました。

このうち、大船渡市については、平成 14 年度から道路事業を移譲し、18 年度で工事が無事終了しました。5 年間でのべ 2 人の職員が赴任しました。

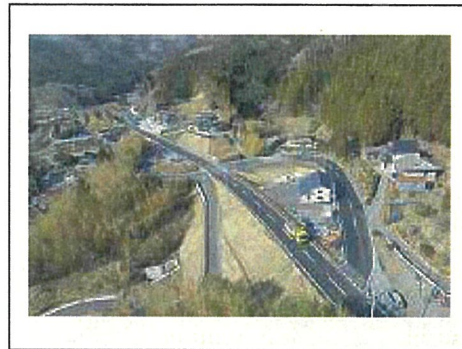
工事路線：主要地方道大船渡綾里三陸線

大船渡市猪川町前田から三陸町綾里を經由して越喜来に至る、延長約 33 km におよぶ地域の生活・産業道路として、住民の日常生活に欠かせない重要な路線。

### ◆小石浜工区

三陸町内、特に綾里地区白浜から小石浜まではリアス式海岸特有の険しい地形的制約から、道路幅が狭いうえ、急カーブ、急勾配が連続した難所です。「小石浜工区」は、この区間に位置します。集落もありますが、カーブがきつく見通しが悪いうえ、道路幅員も狭く危険な状況となっていました。

そこで、車両の安全で円滑な通行の確保を図るため、カーブを減らし、車道を広げるなどの道路改良工事を行いました。平成 13 年度に県事業として着手し、平成 14 年度から大船渡市に移譲され整備が進められ、19 年 3 月に完成しました。

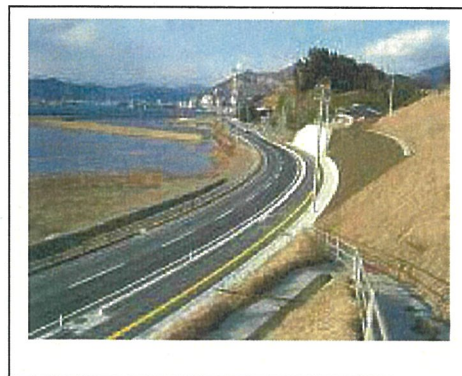


直線的道路が新しい道路  
旧道は、きついカーブ

### ◆赤崎中学校前工区

この区間は、赤崎小・中学校をはじめとする児童・生徒の通学路となっており、近くに港湾施設もあることから交通量が多い一方、カーブがきつく見通しが悪いうえ、歩道も狭く危険な状況でした。

歩行者等の安全と車両の円滑な通行の確保を図るため、カーブを緩やかにし、自転車、歩行者とも利用できる幅の広い歩道を整備しました。平成 12 年度に県事業として着手し、14 年度から大船渡市に事務移譲され整備が進められ、平成 19 年 1 月に完成しました。



道路の右側に見えるのが広い歩道